

OPEN

YOUR

BOX

2015
1.13 Tue
↓
1.24 Sat

OPEN YOUR BOX

5人の市民キュレーターによる 大阪府20世紀美術コレクション展

5人の“市民キュレーター”が、
大阪府のモダンアート作品で展覧会を作りました。
作品をどう感じて、どんな魅力を見つけるか——
それは人の数だけ、十人十色。
さまざまな経歴の5人が、それぞれの思いを詰め込んだ、
5つの箱を開けてみませんか？
それはあなた自身の、思いがけない感性の小箱を開いてくれるかも知れません。

開館時間=11:00→19:00(日曜日は16:00まで)月曜日休館
展覧会場=大阪府立江之子島文化芸術創造センター(enoco) 4階 展示室1
入場料=無料
ギャラリートーク=1月17日(土) 14:00~(参加無料、事前申し込み不要)
●市民キュレーターが企画内容や出品作品について語るギャラリートークを会場内で実施します
主催=大阪新美術館建設準備室
共催=大阪府立江之子島文化芸術創造センター
助成=一般財団法人地域創造

PEN YOUR BOX

5人の市民キュレーターによる 大阪府20世紀美術コレクション展



市民キュレーター
有賀 千洋

■プロフィール

1951年生まれ。アートには全く素人の「昭和の親爺」。その強みは、戦後すぐの貧しい時代を知っていることかも？21世紀には、車が空を飛んでいると思っていましたが... デジタル社会の行く末を案じています。

□ 世界はとてもやっかいだ
でも そう捨てたものではない

結果的には「力のあるもの、人間くさいもの」を選んだ。作家も技法もバラバラですが、個性の強いそれぞれの作品が、壁に配置され、今度は、私たちにどんな言葉を語りかけてくれるだろうか？と考えるとわくわくします。



ニコラス・ジョン・ジョリー「舟」

市民キュレーター
上林 恭子

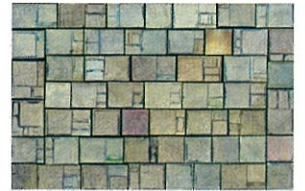


■プロフィール

新しい自分を発見したくて市民キュレーターに応募しました。“アートって難しい？”と思っていましたが、一步踏み込めば楽しくて、ワクワクの連続！私が感じたアートの魅力を皆さんに伝えることができればと思います。

□ 『素材』と『技法』を楽しむ“あつまりの作品”
～じっくりじっくり観てみよう！～

多種多様な素材や技法、緻密な作業、丹念な手技で生み出された“あつまりの作品”に魅せられました。近づいたり、離れたたり、いろいろな視点で、じっくりじっくり鑑賞し、作品を楽しんでいただければと思います。



野村 耕「作品(基礎)」

市民キュレーター
木村 優介

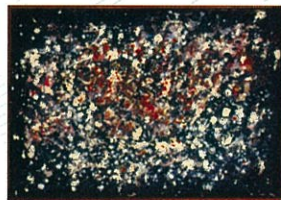


■プロフィール

新感覚を味わえる現代美術が好きですが、理解するのが難しいので、これから求められるのは「わかりにくいものを わかりやすく」する通訳力のあるキュレーターだと思っていたところ、この企画の募集がありました。

□ Dance

音楽で踊れるなら、絵画でも踊ればいいじゃないか！では、どうすれば、音のない絵画で踊れるのでしょうか。それは、共感覚(絵で音を感じる)体験をすることです。共感覚体験ができる絵画展で、踊ってください。



上前 智祐「作品(黒・白)」

■プロフィール

二児の母。あわただしい育児の中で、思いがけない子どもの視点や発想におどろく毎日です。子どもの空想をテーマにした展示を通じて、まるで生きるアートのような子どもの頭のなかを、少しでも感じてみたいです。



市民キュレーター
野口 菜々

□ 空想アンソロジー

子どもの頃に想い描いた、空を飛んだり、未知の空間に入り込むような空想の記憶。そんな、どこか不思議で幻想的な世界観を持つ作品を集めました。作品の空間に入り込んだ感覚で、楽しんでもらえればと思います。



ベルナル・フォアコン「火の玉」

市民キュレーター
永田 由佳子



■プロフィール

今年40歳を迎えたのを機に心の整理をしてみると、本当に必要なものだけが見えてきて、その一つが芸術でした。無性に芸術と向き合いたくなっていたところ、タイミング良く舞い込んできた市民キュレーターの企画。今、心から楽しんでいます。

□ Yellow ~心を照らす 美の灯り~

黄色は人々の不安定な心にアピールし、前向きな気持ちに導くパワーがあります。そんな黄色の作品を集めた展覧会(空間)を企画しました。会場に来ていただいた皆様の心を照らせる空間になればと思っています。



渡辺 信子
「yellow and white」

“市民キュレーター”って何？

いろいろな美術作品を、選んで、並べる。美術館の学芸員が日々たずさわる、この展覧会づくり(キュレーション)という仕事は、実際のところ、市民のみなさんには、なかなかイメージしにくいものかもしれません。そんな展覧会づくりを体験してもらい、美術館活動への理解を深めてもらうために、普段は展覧会を見る立場にある人に「市民キュレーター」として活動してもらい試みが、日本各地の美術館で行われています。

【問合せ】 大阪府立江之子島文化芸術創造センター(enoco)

〒550-0006 大阪市西区江之子島2丁目1番34号

TEL:06-6441-8050 FAX:06-6441-8151

HP:www.enokojima-art.jp E-mail:art@enokojima-art.jp



【アクセス】

大阪市営地下鉄千日前線・中央線
「阿波座駅」下車
8番出口から西へ約150m
*館内に一般向け駐車場はございません。

enokojima creates osaka
enoco